

学びっこ通信



マナビー

発行：栄小学校学力向上チーム

平成30年11月5日

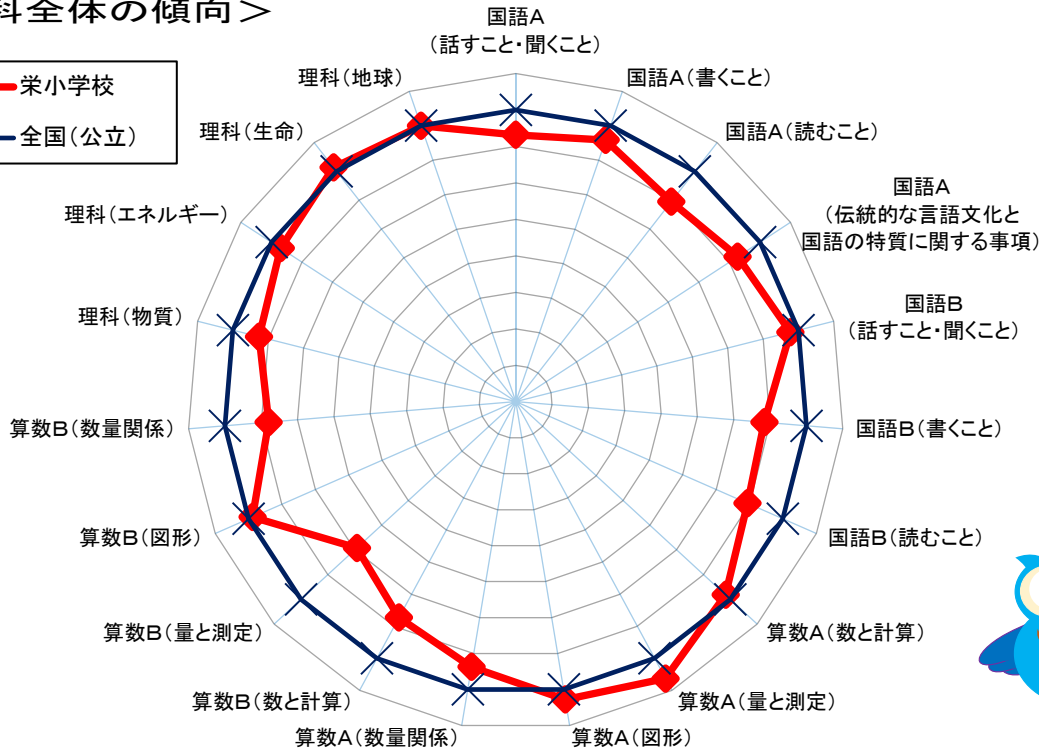
ハッピー



平成30年度「全国学力・学習状況調査」の結果について

平成30年4月17日に6年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果(概要)について報告いたします。

<教科全体の傾向>



レーダーチャートの見方
 全国平均正答率を百として、比較をしています。



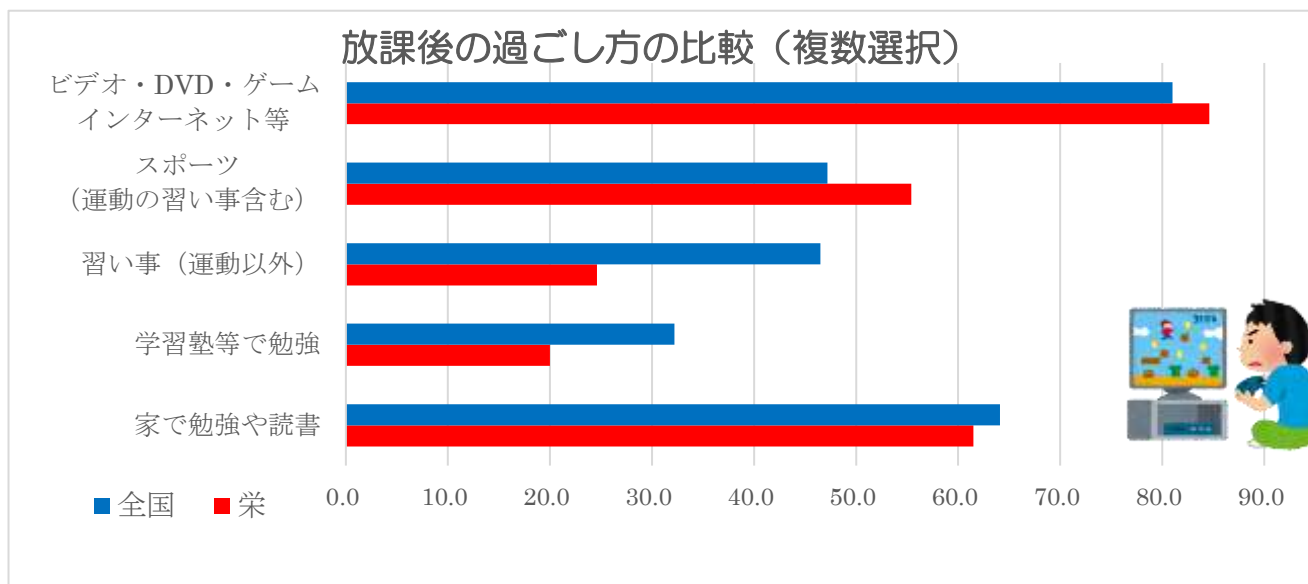
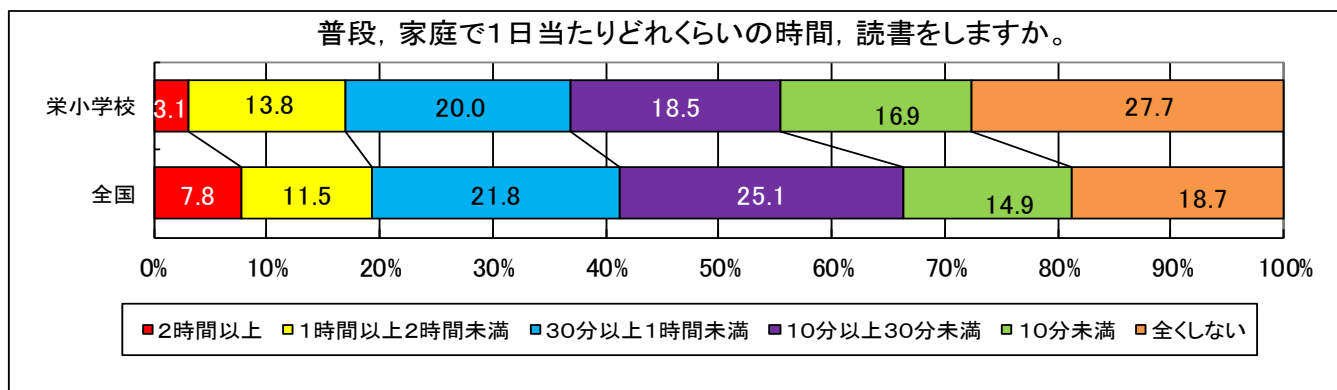
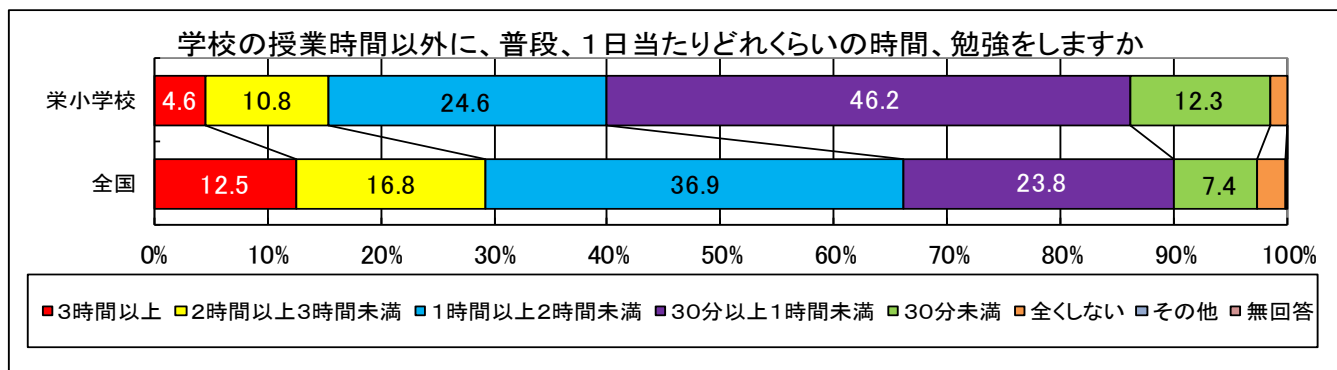
○本校のよかった点

- ・国語 A では、同音の漢字の中から適切な漢字を選択する設問の正答率において全国平均正答率を上回った。
- ・国語 B では、湯川秀樹の伝記の一部から心惹かれた文章を選び、その理由を記述する設問において全国平均正答率を上回った。
- ・算数 A では、各領域でバランスよく得点し、総合では全国平均正答率と同等の正答率を得ることができた。特に角度の測定や混み具合を比べる設問において正答率が高かった。
- ・算数 B では、九九のある段とある段の答えの和を、分配法則を用いた式に表す設問において大きく全国平均正答率を上回った。
- ・理科では、各領域でバランスよく得点するとともに、太陽の位置に合わせて光電池の置き方を選択する設問において全国平均正答率を大きく上回った。

○本校の課題

- ・国語 A では、適切な敬語の使い方、主語と述語の関係の理解において課題が見られた。
- ・国語 B では、目的に応じて文章や本を選んだり、目的や意図に合わせて文章全体の構成を考えたりする設問において、課題が見られた。
- ・算数 A では、百分率を求める計算や折れ線グラフから変化の特徴を読み取る設問において、全国平均正答率を大きく下回った。
- ・算数 B では、棒グラフと帯グラフから内容を読み取る設問で課題が見られた。また、示された情報から時間を求める設問においては、全国平均正答率を大きく下回った。
- ・理科では、電流計の目盛りの読み方とろ過の操作方法について課題が見られた。

<学習習慣・生活習慣の傾向>



○本校の課題

- ・全国に比べると、家庭学習の時間が短い。特に「1時間以上学習している」割合は約25ポイントも下回っている。
- ・読書については、「全くしない」と回答している割合が全国より10ポイントも上回っている。
- ・放課後の過ごし方を全国と比較してみると、ビデオ・DVD・ゲーム・インターネット等を視聴している児童が若干多く、反対に勉強や読書に費やしている児童は、少ない傾向である。

生活リズムを見直して、家庭学習や読書の時間を確保しましょう！（家庭での声かけをお願いします。）

